

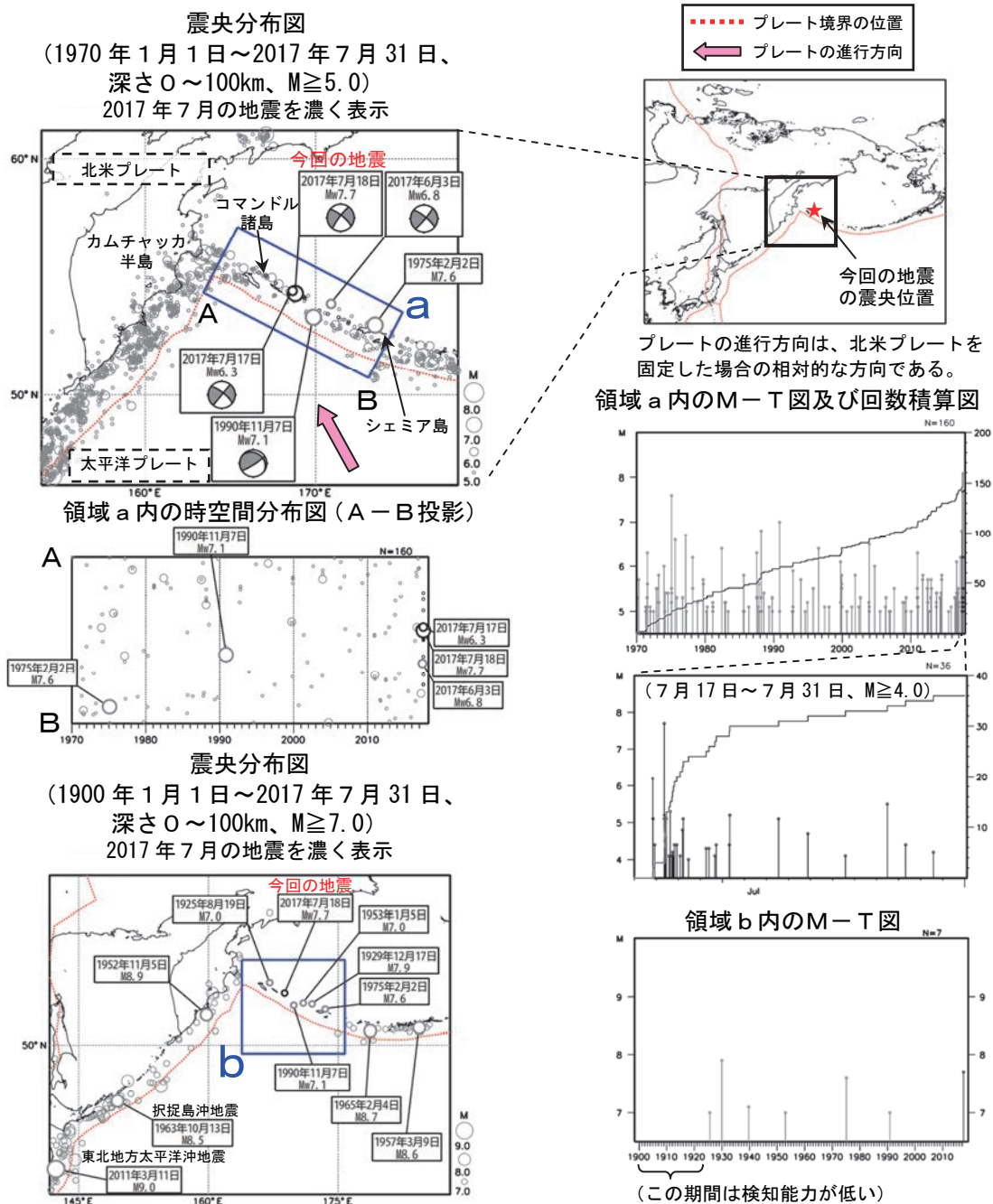
7 月 18 日 ロシア、コマンドル諸島の地震

2017 年 7 月 18 日 08 時 34 分（日本時間、以下同じ）に、ロシア、コマンドル諸島で Mw7.7 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生前日には、ほぼ同じ場所で Mw6.3 の地震が発生している。その後、今回の地震を中心に北西－南東方向にやや広い範囲で地震活動が活発になっている。

気象庁は、この地震について同日 08 時 59 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の有無について調査中）、同日 09 時 55 分に遠地地震に関する情報（日本への被害の心配はなし）を発表した。この地震によりシェミア島で 9 cm の津波を観測した。

1970 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M6 を超える地震が時々発生しており、今回の地震から東南東方向に約 350km 離れた場所で、1975 年 2 月 2 日に M7.6 の地震が発生し、負傷者 15 人等の被害が生じている。

1900 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、M7 を超える地震が今回の地震も含め、7 回発生している。アリューシャン列島周辺では、M8 を超える地震も時々発生しており、過去には日本でも津波を観測する地震がいくつか発生している。



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。2017 年 6 月 3 日、7 月 17 日の地震の発震機構は米国地質調査所 (USGS)、その他の地震の発震機構及び Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素は、1900 年から 1969 年までは国際地震センター (ISCGEM)、1970 年以降は USGS による。今回の地震の津波の観測値は、アメリカ海洋大気庁 (NOAA) による。1975 年 2 月 2 日の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.